

第1号議案 2010年度事業報告書

2010 会計年度 (2010.4.1 - 2011.3.31)

I. 研究活動

1. 第3回 IPA 研究助成賞の公募と授与
 - ・ 4月にプロポーザル公募を開始し、以下のスケジュールで審査し、授与式を行った。

6月15日	プロポーザル提出締切り
7月28日	選考委員会で審査
8月2日	受賞者に結果通知
 - 10月14日、15日 授与式の実施(第3回 IPA 国際ワークショップ開催時)
2. 第2回 IPA 研究助成賞受賞者の論文作成および第3回 IPA 国際ワークショップでの発表。
3. 第3回 IPA 研究助成賞受賞者に対する研究支援を行った。
 - ・ 2月に研究助成賞受賞者支援のため、技術アドバイザーを派遣した。
4. 圧入工学セミナー、第3回 IPA 国際ワークショップの報告会を開催し、圧入技術の普及・啓蒙に努めた。
5. 正会員、法人会員等から圧入施工現場の計測に関するプロポーザルに対し、現場計測業務を積極的に支援した。
6. IPA 研究論文集第2号「Press-in Engineering 2011」の編集と出版準備をした。

II. 国際会議活動

1. 第3回 IPA 国際ワークショップを開催するための準備を行なった。圧入施工のデモンストレーション現場を探索し、中国の人脈拡大を図った。
2. 第3回 IPA 国際ワークショップを10月14～15日に中華人民共和国・上海市で開催した。主な内容は以下のとおりである。
 - ・ 第2回 IPA 研究助成賞受賞者による研究成果論文発表(5件)
 - ・ 第3回 IPA 研究助成賞授与式と研究計画の発表(9件)
 - ・ 最新の圧入技術・プロジェクト、中国における圧入技術の普及などに関する講演(7件)
 - ・ 南江臨港新城で施工中の現場にて、圧入機によるデモンストレーションを視察

3. 第4回 IPA 国際ワークショップ開催候補地の検討をした。
4. 産学官との連携強化
 - ・ 同済大学土木工学部、など中国の大学との連携強化を図った。
 - ・ 中国土木学会、上海土木学会などと情報交換を行った。

III. 委員会活動

1. 総会

- ・ 2010 年度通常総会を 2010 年 7 月 6 日～8 月 3 日に開催した。
すべて全会一致で決議された。

第 1 号議案 2009 年度事業報告書

第 2 号議案 2009 年度収支計算書及び監査報告書

第 3 号議案 2010 年度事業計画書

第 4 号議案 2010 年度収支予算書

第 5 号議案 理事選任

第 6 号議案 定款の改定

2. 研究委員会

- ・ 第 1 回研究委員会を 2010 年 7 月 13 日に株式会社技研製作所 高知本社にて東京工業大学 教授 日下部治氏、港湾空港技術研究所 部長 菊池喜昭氏、多賀谷委員長他 5 名が出席して開催し、以下の議論を行った。
 - ① 第 3 回 IPA 研究助成賞の応募プロポーザルについて
 - ② 第 3 回 IPA 国際ワークショップのプログラムについて
 - ③ 地下構造物に関する地振動・耐震性能の照査について

3. 広報委員会

- ・ 広報委員会にて、ホームページの充実、プレゼンテーションツールの拡充、プレス発表などの広報活動を活発に行った。

IV. 広報活動

1. ホームページの更新

- ・ 国際圧入学会のホームページに種々の活動に関する更新を行った。

2. 説明会

- ・ JR 東日本にて、2010 年 5 月 13 日奥村事務局長が『IPA 国際ワークショップ』と題して、IPA の活動内容について説明を行った。

3. 講演活動

- ・ 全国圧入協会の平成 22 年理事会・会員総会において、2010 年 6 月 4 日に奥村事務局長が『IPA 平成 22 年度活動について』と題して講演した。

4. プレス発表

- ・ 第3回 IPA 国際ワークショップなどのイベント、研究成果などを新聞・雑誌に適時に発表した。

V. 会員サービス活動

1. 会員勧誘活動

- ・ 技研製作所IPA推進室が主体的となり正会員、法人会員の勧誘活動を行った。
2011年3月末現在の会員数は以下のとおりである。

正会員	483 名
法人会員	26 社
学生会員	6 名

以 上

第 2 号議案 2010 年度収支計算書及び監査報告書

2010 会計年度(2010.4.1-2011.3.31)

(単位: 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 入会金収入				
法人会員入会金収入	466,056	566,056	100,000	6社
② 会費収入				
正会員年会費収入	4,643,211	4,749,745	106,534	476名
法人会員年会費収入	2,866,056	2,966,056	100,000	30口
③ 寄付金収入				
寄付金収入	3,000,000	3,000,000	0	技研製作所よりIPC賃借料
④ 雑収入				
受取利息収入	6,607	15,554	8,947	
事業活動収入計	10,981,930	11,297,411	315,481	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
第3回研究助成金支出	5,400,000	2,415,500	△ 2,984,500	4名送金済
第3回IPA国際ワークショップ	5,478,257	5,416,214	△ 62,043	
第3回IPA国際ワークショップ準備	706,928	706,928	0	
第2回IPA助成賞論文査読料	150,000	150,000	0	
第3回IPA研究助成賞選考料	210,000	210,000	0	
第3回IPA研究助成賞受賞者研究支援	46,132	175,892	129,760	
研究委員会委員謝金	100,000	65,000	△ 35,000	
中国圧入技術現状調査	500,000	500,000	0	
第2回圧入工学セミナー	566,732	566,732	0	
第3回ワークショップ報告会	0	467,426	467,426	
② 管理費支出				
ウェブサイト管理費	133,350	133,350	0	
会員証作成費用	69,315	69,315	0	
印刷代	190,560	40,560	△ 150,000	
翻訳代	356,096	176,096	△ 180,000	
国内外送料	158,469	149,159	△ 9,310	
通信費	121,368	121,022	△ 346	
賃借料	3,000,000	3,000,000	0	
IPC事務用品費	117,171	139,158	21,987	
支払い手数料	338,512	95,410	△ 243,102	
③ 国内交通費				
事務局員	829,542	509,382	△ 320,160	
研究委員会開催費	207,600	208,940	1,340	
事業活動支出計	18,680,032	15,316,084	△ 3,363,948	
事業活動収支差額	△ 7,698,102	△ 4,018,673	3,679,429	

(単位: 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 固定資産取得				
定期預金払戻収入	6,000,000	6,000,000	0	
投資活動収入計	6,000,000	6,000,000	0	
投資活動収支差額	6,000,000	6,000,000	0	
Ⅲ 予備費支出				
予備費	154,743	57,096	△ 97,647	
研究予備費	50,000	0	△ 50,000	
当期収支差額	△ 1,902,845	1,924,231	3,827,076	
前期繰越収支差額	2,369,227	2,369,227	0	
次期繰越収支差額	466,382	4,293,458	3,827,076	

監査の結果、重要な点において適正に表示しているものと認める。

2011年 5月17日

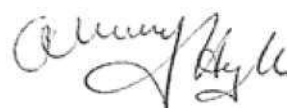
監事



印



監事




In our opinion, the above statement of accounts are presented fairly in all material respects.

17/5, 2011,

Auditor




Auditor




第 3 号議案 2011 年度事業計画書

2011 会計年度 (2011.4.1 – 2012.3.31)

I. 研究活動

1. 第 2 号 IPA 研究論文集「Press-in Engineering 2011」の発行と普及
 - ・ 国立国会図書館、国内外大学、関連する学協会に配布する。
2. 第 3 回 IPA 研究助成賞受賞者に対する研究支援
 - ・ 圧入技術の専門家を技術アドバイザーとして指名し、受賞者の研究を支援する。
 - ・ 法人会員の現場ニーズを、研究に反映させるための支援をする。
3. 正会員や法人会員から、圧入施工現場の計測に関する依頼や提案があった場合、現場計測業務を積極的に支援
4. 第 4 回 IPA 研究助成賞応募要領の作成(研究委員会で実施)
5. 圧入中のモニタリングによる地盤物性の評価方法の確立(研究委員会で実施)
 - ・ PPT(Pile Penetration Test)技術をオーソライズする。
6. 圧入工学セミナー、研究成果発表会等を開催し、圧入技術を普及・啓蒙
7. 圧入施工指針や圧入設計指針の策定に着手

II. 国際会議活動

1. 第 4 回 IPA 国際ワークショップの開催準備
 - ・ ワークショップの会場や現場見学会等について検討する。
 - ・ プログラムについて検討する(研究委員会で実施)。
2. 7月に高知で国際セミナー(仮称)を開催
 - ・ ケンブリッジ大学、東京大学、東京工業大学、金澤大学、同済大学等の学生や先生と国際セミナー(現場体験を含む)を開催し、若手研究者の交流とともに、圧入技術の国際展開に貢献する。
3. 産学官との連携強化
 - ・ ASCE、DFI、国際地盤工学会、中国土木工学会、上海土木学会等と情報交換を行う。
 - ・ 同済大学、国立台湾大学、成功大学等と連携強化を図る。

III. 委員会活動

1. 総務委員会の活動を充実させ、財政基盤を強化する。
2. 研究委員会にて、機械・計測分野の委員を拡充し、研究活動を活発にする。また、現場計測データなどの解析を行って、地下の可視化に重点を置いた研究活動を行う。
3. 研究委員会にて、産学官連携の研究活動を推進する。
4. 広報委員会にて、ホームページの充実、プレゼンテーションツールの拡充、プレス発表などの広報活動を活発に行う。

IV. 広報活動

1. ホームページの大幅な改訂を行い、コンテンツの更新を速め、会員専用サイト等の拡充などを行う(外注も一部活用)。
2. 圧入工学セミナーなどのイベント、研究成果等を新聞・雑誌等に適時に発表する。
3. 全国圧入協会総会における講演等、国際圧入学会の活動を紹介する講演活動を実施する。
4. 圧入工法の発注者に向けた広報活動を活発に行い、発注仕様書に反映させる支援を行う。今年度は、国内外の鉄道関係者に対して重点を置く。

V. 会員サービス活動

1. 会員勧誘活動を積極的に行い、法人会員を拡大する活動を充実させる。特に、全国圧入協会と連携し、そのイベント等を活用して法人会員の拡大を図る。
2. IPC 国際圧入センターを活用して、会員サービスを積極的に行う。
3. 国内外の法人会員や正会員の活動を積極的に支援する。今年度は、上海や台湾に重点を置いて活動する。

以上

第4号議案 2011 年度収支予算書

2011会計年度(2011.4.1-2012.3.31)

(単位: 円)

科 目	2010年度決算額	予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 入会金収入				
法人会員入会金収入	566,056	300,000	△ 266,056	3社
② 会費収入				
正会員年会費収入	4,749,745	4,700,000	△ 49,745	470名
法人会員年会費収入	2,966,056	3,300,000	333,944	30口+3口
③ 寄付金収入				
寄付金収入	3,000,000	3,000,000	0	技研製作所よりIPC賃借料
④ 雑収入				
受取利息収入	15,554	2,000	△ 13,554	
事業活動収入計	11,297,411	11,302,000	4,589	
2 事業活動支出				
① 第3回研究助成金支出	2,415,500	3,134,500	719,000	助成金5名未送金
第3回IPA国際ワークショップ	5,416,214	0	△ 5,416,214	
第3回IPA国際ワークショップ [*] 準備	706,928	0	△ 706,928	
第4回IPA国際ワークショップ [*] 準備	0	700,000	700,000	開催地下見
第2回IPA助成賞論文査読料	150,000	0	△ 150,000	
第3回IPA研究助成賞選考料	210,000	0	△ 210,000	
第3回IPA研究助成賞受賞者研究支援	175,892	150,000	△ 25,892	
研究委員会委員謝金	65,000	150,000	85,000	2回開催
中国圧入技術現状調査	500,000	0	△ 500,000	
第2回圧入工学セミナー	566,732	0	△ 566,732	
第3回圧入工学セミナー	0	700,000	700,000	高知,東京で開催
第3回ワークショップ報告会	467,426	0	△ 467,426	
「Press-in Engineering 2011」印刷代	0	400,000	400,000	
海外会員活動支援	0	600,000	600,000	上海,台湾への出張
② 管理費支出				
ウェブサイト管理費	133,350	500,000	366,650	
会員証作成費用	69,315	70,000	685	
印刷代	40,560	40,000	△ 560	
翻訳代	176,096	330,000	153,904	
国内外送料	149,159	150,000	841	
通信費	121,022	100,000	△ 21,022	
賃借料	3,000,000	3,000,000	0	
I P C 事務用品費	139,158	110,000	△ 29,158	
支払手数料	95,410	100,000	4,590	
③ 国内交通費				
事務局員	509,382	500,000	△ 9,382	
研究委員会開催費	208,940	250,000	41,060	2回開催
④ 支部活動費	0	0	0	
事業活動支出計	15,316,084	10,984,500	△ 4,331,584	
事業活動収支差額	△ 4,018,673	317,500	4,336,173	

(単位: 円)

科 目	2010年度決算額	予算額	増 減	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 固定資産取得				
定期預金払戻収入	6,000,000	0	△ 6,000,000	
投資活動収入計	6,000,000	0	△ 6,000,000	
2 投資活動支出				
② 固定資産取得支出				
定期預金支出	0	4,000,000	4,000,000	
投資活動支出計	0	4,000,000	4,000,000	
投資活動収支差額	6,000,000	△ 4,000,000	△ 10,000,000	
Ⅲ 予備費支出				
予備費	57,096	100,000	42,904	
研究予備費	0	100,000	100,000	
当期収支差額	1,924,231	△ 3,882,500	△ 5,806,731	
前期繰越収支差額	2,369,227	4,293,458	1,924,231	
次期繰越収支差額	4,293,458	410,958	△ 3,882,500	